

一から楽しくできたよ

公民館でそば作り体験

中央公民館で12月5日(日)に2回に分けてそば作り体験教室が行われました。

合わせて計11人が参加し、初めのうちは苦戦している様子もありましたが、講師の指導を受けながらそば粉をこねて自分でお好みの細さに切って作っていました。

最後には自分で作ったそばの試食もし、参加者たちは自身の手で作ったそばに舌鼓を打っていました。

体験した中里小2年生の角田智颯さんは「そばを細く切るのが難しかった。美味しく楽しくそば作りをできた」と話していました。



町民の安全を守るために

除排雪業務安全祈願祭

町建設業協会(会長・平山久宗)が12月6日(月)に大沢内克雪センターで、除排雪作業の安全祈願祭を行いました。

祈願祭には町長や、受注者である同協会関係者など約30人が参加し、除排雪作業の安全を祈りました。

町長は「町民の安全な暮らしを守るための安全第一の除雪体制で頑張ってもらいたい」と話しました。

新・ご当地グルメってどう作っているの?

中里小6年が出前講座を受講

中里小6年生27人が12月20日(月)に校内ランチルームで、町の新・ご当地グルメによるまちづくりを学ぶことを目的とした出前講座を行いました。

今回は、役場の職員から「新・ご当地グルメがどのように作られているのか」「町づくりはどのようにして行われているのか」の説明を受けました。

児童たちは、メバルがカサゴの仲間であることなどを知り、驚きの声を上げていました。



中泊トマト鮮ラーメン売上順調!もうすぐ1周年

トマト生産者に感謝

中泊トマト海鮮ラーメン(トマト鮮ラーメン)は、令和3年12月末で6,942食、経済効果約3,500万円売り上げ、令和4年3月23日でちょうど1年になります。このトマト鮮ラーメンで消費した中泊産のトマトは約3トンで、糖度15.5~15.8の完熟トマトのみを使用しています。

中泊メバル料理推進協議会中畑哲也会長は、「町のトマト生産者が丹精込めて作ったトマトは、酸味と甘味が絶妙で、麺によく絡み、最後までおいしくいただけます。トマト生産者に感謝です」と感謝の言葉を述べていました。

縁起物を自分の手で

公民館で門松づくり体験

正月に家の門の前などに飾る門松を作る体験教室が、中央公民館で12月22日(水)に開かれ、33人が参加しました。

参加者たちは、3本の竹にむしろを巻いたものを荒縄でしめ、松の葉で囲って高さ約70センチ、直径約20センチの門松を講師のアドバイスを聞きながら1時間ほどで作りました。



寒くても健脚健在

元旦マラソンで走り初め

新年のスタートダッシュを決める元旦マラソンが今年も開催され、1月1日(土)に健脚自慢たちが体育センターに集い“走り初め”をしました。

参加者たちは開始の合図とともにさっそうと走りだし、津軽中里駅までの往復約3キロのコースを駆け抜けました。

トップでゴールした荒関天空さん(五所川原第一高校1年)は「吹雪いていて寒かったがゴールした瞬間気持ちよかった」と笑顔を見せました。



焚き上げた炎を見つめて

祈りをこめてどんと焼き

正月の飾りや注連縄(しめなわ)、破魔矢、お守りなど古くなった縁起物を持ち寄って、1か所に積み上げて燃やすお正月の火祭り行事「どんと焼き」が1月15日(土)に運動公園第3駐車場で行われました。

参加した人たちは、無病息災や五穀豊穡などを祈願し、立ち上がる炎に向かって手を合わせていました。



親子で聞くふるさとの昔話

下前地区の母親クラブが親子交流イベントを開催

すくすくしたまえ館で、2年ぶりの「ゆきんこまつり」が1月9日(日)に開催されました。

今回は對馬てみさんによる昔話やハンドベル演奏などを行いました。對馬さんが1人で何役も演じる昔話では、下前の地名など地域にまつわるものが取り上げられ、大人も子どもも聞き入っていました。



イベント終了後はお土産として母親クラブ手作りの焼きそばが振る舞われました。

主催した母親クラブは、「コロナ禍でもできる範囲で交流イベントを行いたいと企画した。地域の親子が集まる場になってよかった」と笑顔を見せていました。